

A 事業活動

第1 青少年の非行防止及び健全育成に関する事業

1 少年問題シンポジウムの開催等

【ホームページ及びみちびき第173号に掲載】

「少年問題シンポジウム」は、当協会と公益財団法人全国防犯協会連合会との共催事業として、警察庁及び各都道府県少年警察ボランティア連絡協議会等の協力を得て、毎年11月に開催し、家庭、学校、地域において果たす役割と必要とされる活動について、学識経験者、教育関係者、少年育成関係等と、少年の問題を様々な角度から議論し、意見を交わす活動である。

〈シンポジウムの開催〉

本年度は、全書協設立30周年記念行事として11月2日（木）に、4年ぶりに東京千代田区に所在するホテルグランドアーク半蔵門において、全国の少年警察ボランティア等約260名が参加して、「少年の非行及び被害を生まない社会をつくるために～これからの少年警察ボランティア活動を考える～」をテーマとして開催された。また、多くの人たちが視聴できるようシンポジウムの開催状況を収録した映像を、当協会ホームページにてオンデマンド配信した。（配信期間令和5年11月～令和6年10月）

◇ 主宰者挨拶

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会会長 岩井 宣子

◇ 来賓挨拶

警察庁生活安全局長 檜垣 重臣 氏

◇ 特別講演

株式会社感性サーチ 代表取締役社長 黒川 伊保子氏

◇ パネルディスカッション

○ コーディネーター

非行臨床研究所代表 石橋 昭良 氏

（全国少年警察ボランティア協会 理事）

○ パネリスト

・警察庁生活安全局人身安全・少年課 課長補佐 周防 直樹 氏

・福岡県警察本部生活ン全部少年課 課長補佐 安永 智美 氏

（警察庁指定広域技能指導官）

・法務省千葉保護観察所 統括保護観察官 里見 有功 氏

・NPO 法人再非行サポートセンター愛知 理事長 高坂 朝人 氏

・宮城県少年補導員協会 会長 竹田 英子 氏

2 地域ふれあい事業の実施

【ホームページ及びみちびきに掲載】

少年の非行防止や健全育成のためには、少年に、身体的・精神的な“よりどころ”となるような活動機会や居場所を提供することが効果的と考えられる。このため、それぞれの地域における地場産業等の見学・生産体験、伝統文化・芸能の継承、社会福祉施設の訪問、地域社会の美化、自然環境保護等の活動を通して、少年の地域社会への関心と参加を促して連帯意識を醸成し、地域の人々とのふれあいを深めさせ、あわせて、地域社会の活性化にも資することを目的として実施するものである。

実施に当たっては、少年警察ボランティアが活動の中心となり、警察職員、自治体職員、関係機関団体職員、地域住民の支援協力を得て、地域の少年たちが参加し、主体的に行動できるように配慮して行っている。

本年度は、全国少年警察ボランティア協会（以下「全少協」と略称する。）が実施県少協に後援し、新型コロナウイルスの感染予防対策を講じながら県少協による自主開催で、4県で実施した。

なお、実施内容の詳細は、別紙1（P13～P14）

3 農業体験を通じた立ち直り支援活動の推進

【ホームページ及びみちびきに掲載】

少年の立ち直り支援を効果的に推進するためには、少年が継続的に活動できる場のあることが望ましいが、農作物の栽培、収穫等の農業体験には、ひとつの物事に継続的に取り組むことによる忍耐力の涵養や、これらの体験を通じた将来の就労に向けた意欲の向上にとどまらず、情操面における教育的効果も期待でき、立ち直り支援の場としてふさわしいと考えられる。

農業体験を通じての立ち直り支援活動は、これまでも各都道府県警察において行われてきたが、これらの活動においては、農作業の指導、農地の管理等少年警察ボランティアの果たす役割は大きいと考えられるので、これらの活動を少年警察ボランティアの事業として実施することとするものである。

本年度も昨年度につづき、公益財団法人 JKA の助成を受け、全少協と県少協との共催で 37 都道府県（うち、自主開催 9 県）で実施した。

なお、実施内容の詳細は、別紙2（P15～P26）のとおりである。

4 健全育成資料の作成

【ホームページ及びみちびきに掲載】

少年警察ボランティアや少年補導職員等警察職員が、小中学生や保護者等を対象に行う「非行防止教室」等で、少年の非行や被害の防止等について講話等を行う場合に、参加者に配布する教材として活用している『健全育成ハンドブック 安全と遊びのルール(小学生用)』

を60,000部、『健全育成ハンドブック あなたの明日のために～もう一度考えよう～(中学生用)』を60,000部の計120,000部を、一般財団法人日本宝くじ協会の助成を受けて作成し、全国の小・中学校、全国の図書館等に無償配布した。

また、全国少年警察ボランティア協会が38,000部を作成し、47都道府県の全国少年警察ボランティア・警察職員・関係機関・団体、賛助会員に無償配布したほか、残部を有償頒布した。

5 第32全国小学生作文コンクールの実施

【ホームページ及びみちびき第173号掲載】

コンクール参加の小学生本人だけでなく、関係する小学校や保護者などにも広く、犯罪、事故、安全、防犯等について認識を深めてもらうことを目的として、全少協、公益財団法人日工組社会安全研究財団及び読売新聞社の三者の共催で、内閣府、警察庁及び文部科学省の後援、公益社団法人日本青年会議所、公益社団法人日本PTA全国協議会、公益財団法人全国防犯協会連合会の協力により、毎年度『わたしたちのまちのおまわりさん』作文コンクールを実施している。

令和5度は、低学年の部2,829点、高学年の部1,518点の計4,347点の応募があった。

特別審査員高田万由子氏ほか4名の審査員による審査を行い、12月20日(水)読売新聞全国版に優秀賞以上の受賞者42名を発表、このうちから優秀賞を除く14名に対し同月23日(土)、東京・読売新聞東京本社において表彰状を手渡した。

なお、優秀賞受賞者28名に対しては、表彰状を受賞者本人に郵送により伝達した。

また、参加者全員に参加賞を与えた。

受賞者は、以下の各氏である。

◇ 内閣総理大臣賞

低学年の部 鷹取 随さん (庫県・小学1年生)

高学年の部 リュベンソン英真さん (埼玉県・小学6年生)

◇ 国務大臣・国家公安委員会委員長賞

低学年の部 金子 心咲さん (静岡県・小学3年生)

高学年の部 栗原 萌誇さん (群馬県・小学6年生)

◇ 警察庁長官賞

低学年の部 重國 愛奈さん (石川県・小学3年生)

高学年の部 日高 まつりさん (群馬県・小学5年生)

◇ 全国少年警察ボランティア協会賞

低学年の部 中里 心春さん (埼玉県・小学3年生)

高学年の部 村上 天望さん (岡山県・小学6年生)

◇ 日工組社会安全研究財団賞

低学年の部 河本 芽衣さん (神奈川県・小学2年生)

高学年の部 森山 あかりさん (島根県・小学5年生)

◇ 読売新聞社賞

低学年の部 西田 衣佳さん (三重県・小学3年生)

高学年の部 須鎗 杏実さん (岡山県・小学6年生)

◇ 審査員特別賞

低学年の部 中根 吉平さん (栃木県・小学3年生)

高学年の部 坂田 柚季さん (岡山県・小学5年生)

◇ 優秀賞

低学年の部 鈴木 颯ささん (福島県・小学1年生)

寺田 圭吾さん (群馬県・小学2年生)

島田 彩未さん (栃木県・小学3年生)

人見 虹羽空さん (栃木県・小学2年生)

鬼原 奈々子さん (千葉県・小学3年生)

宮本 ひかりさん (栃木県・小学2年生)

矢島 巧翔さん (埼玉県・小学1年生)

中村 祐晴さん (埼玉県・小学3年生)

鈴木 綾真さん (福島県・小学3年生)

中村 里愛さん (奈良県・小学1年生)

花見 虹春さん (神奈川県・小学2年生)

明田 侑己さん (静岡県・小学1年生)

尾崎 大和さん (三重県・小学3年生)

大谷 權士さん (大阪府・小学3年生)

高学年の部

福士 美苗さん (埼玉県・小学6年生)

小山 尊さん (岩手県・小学4年生)

吉住 柊汰さん (山形県・小学5年生)

中山 陽葵さん (大阪府・小学6年生)

杉崎 心美さん (埼玉県・小学6年生)

細川 琴叶さん (奈良県・小学5年生)

岩田 結優香さん (島根県・小学4年生)

内山 未莉さん (三重県・小学6年生)

伊藤 都夢さん (京都府・小学4年生)

宮本 陽真理さん (徳島県・小学5年生)

木口 美夢さん (福島県・小学6年生)
田中 結菜さん (栃木県・小学6年生)
田畑 颯希さん (三重県・小学4年生)
末廣 春馬さん (大分県・小学6年生)

なお、全国小学生作文コンクール事業は、令和5年度をもって終了した。

6 インターネット利用による少年サポート活動の実施 【ホームページに掲載】

インターネット上に氾濫する少年非行を助長し健全な育成を阻害する有害情報から、少年たちを保護することを目的として、平成15年から全少協ホームページを利用し、サイバーボランティアがサイト開設者に対する注意喚起活動等の活動を実施してきた。

しかし、近年X(旧Twitter)等のアプリを利用して犯罪被害に遭う児童が増加する状況が続いていることから、令和4年度に文教大学教授池辺正典氏の協力を得て、X内をパトロールし、不適切な書込みをX社に通報するシステムを新たに構築し、令和4年5月から運用を開始した。

令和5年1月1日～令和5年12月31日までの活動結果は、

X社への通報件数 11,607件

であった。

7 少年の非行防止活動に関する広報活動の実施 【ホームページに掲載】

少年の非行防止や健全育成、そのための活動等について、社会に周知し、人々の理解を深めてもらうため、全少協のホームページ、広報用資料等を用いて広報を実施した。

内容は、全少協の事業概要と情報公開、あゆみ、主催事業、県少協への後援事業(地域ふれあい事業、地域カンファレンス)及び発行する出版物、ネット利用サポート活動、顕彰、少年非行等の概要、寄付のお願い、賛助会員の募集その他となっている。

その他、全少協の定款、役員等の報酬の支給及び費用の支弁に関する規程、掲示板のほか、平成21年度から令和4年度までの事業計画、収支予算書、事業報告、計算書類、議事録、決議文も紹介している。

また、令和5年度は「少年警察学生ボランティア研修会」「少年問題シンポジウム」「全国少年警察ボランティア・リーダーシップ研修会」について、当協会ホームページからインターネット配信を実施した。

◇ アドレスは、 <https://zensyokyo.or.jp/>

8 少年の非行防止及び健全育成に関する調査研究

少年の非行防止及び健全育成のための活動に資するため、少年警察ボランティア活動の

実施状況等について調査を実施するものである。

本年度は、少年警察ボランティアのあり方に関する調査を行った。

9 ボランティアの活性化と裾野拡大のための施策の推進

(1) 少年警察学生ボランティア活動の充実強化

【ホームページ及びみちびき第173号に掲載】

少年警察ボランティア活動の将来等も考慮して、年齢的にも少年たちに近い大学生等を少年警察学生ボランティアとして委嘱するなどの都道府県が増加し、委嘱・登録された者も3,900名を超えるに至っているが、これらの者の理解の深化と意識の高揚を図るため、これまで、東日本地区と西日本地区で交互に隔年で集合研修（少年警察学生ボランティア研修会）の場を設けてきた。

令和3年度からは、より多くの大学生ボランティアが研修会に参加できるよう事前に収録したパネルディスカッションの様様をインターネット配信しており、令和5年度もインターネット配信とした。

今回の研修会の内容は、令和5年9月27日から令和6年9月末まで、当協会のホームページにて配信中である。

その内容は以下のとおりである。

☆ 研修次第

① 学生ボランティアに対するメッセージ

警察庁生活安全局人身安全・少年課長 阿波 拓洋 氏

② 基調講演 福岡県警察本部生活安全部少年課 課長補佐 安永 智美 氏 (警察庁指定広域技能指導官)

③ パネルディスカッション

「少年警察学生ボランティアに参加する意義

～子どもたちを非行・被害から守るために大学生としてできること～」

コーディネーター 法政大学文学部心理学科教授 渡辺 弥生 氏

パネリスト 慶応義塾大学 福元 桜子 氏 (東京都代表)
淑徳大学 杉田 大晃 氏 (千葉県代表)
愛知学院大学 横山 凛 氏 (愛知県代表)
福山大学 遠原 恵 氏 (広島県代表)
沖縄国際大学 登野城 悠美 氏 (沖縄県代表)

④ 講評

公益社団法人全国少年警察ボランティア協会 理事長 田中 法昌

(2) 少年警察学生ボランティアの学習支援の推進

学生ボランティアが行っている、立ち直り支援対象少年等への学習支援活動は、少年が復学や進学に対する意欲を持つ契機になり、実際、非行をやめ、授業に出席し、さらに高校進学を果たすなど、高い効果を挙げた。

(3) 少年警察学生ボランティアの委嘱支援

全少協では、大学生等を少年警察ボランティアに委嘱または登録している都道府県少協が、学生ボランティアを安心して補導活動等に従事させることができるよう、「少年警察ボランティア団体総合補償保険」の保険料を負担し支援しているが、本年度の支援は、23県1,023名に対して行った。

10 少年警察ボランティア団体総合補償保険への加入促進

少年警察ボランティアが、その活動に関して、負傷もしくは死亡し、又は他人に損害を与えた場合の補償のため、少年警察ボランティア団体総合補償保険(引受保険会社6社幹事会社:損害保険ジャパン株式会社)への加入の斡旋を行った。

第2 研修事業

1 少年警察ボランティア等の地域カンファレンスの開催

少年の非行防止や健全育成のための活動は、少年警察ボランティアと警察の少年補導職員等が連携して行うことにより効果的な展開が期待できるので、活動について両者に共通の理解と認識を持ってもらえるよう、少年補導職員、少年警察ボランティア合同の研修を行っている。

実施に当たっては、少年に関わる問題、少年の非行防止や健全育成のための活動等をテーマに、講演、パネルディスカッション、事例研究、実技訓練等を組み合わせ、参加者全員が参画できるよう配慮して行っている。

本年度は、全少協が開催県少協に後援し、県少協による自主開催で、7県で開催した。

実施内容は、別紙3(P27~P30)のとおりである。

2 全国少年警察ボランティア・リーダーシップ研修会について

【ホームページ及びみちびき第174号に掲載】

全少協では、地域における少年非行の防止や健全育成のための活動を活性化し効果的に進めるため、それぞれの地域において、将来指導的立場に立ち、或いは活動の中心的な存在としての役割を期待されている少年警察ボランティアを対象として、リーダーとしての意識を喚起し、必要な知識等を研修させるため研修を行っている。

研修会については、ハイブリット形式で行われ、後日当協会ホームページからインター

ネット配信とした。

- ◇ 挨拶 警察庁生活安全局人身安全・少年課長 阿波 拓洋 氏
来賓挨拶 (公社) 全国少年警察ボランティア協会理事長 田中 法昌 氏
- ◇ 講 義 「少年相談の窓口から」
警視庁少年育成課新宿センター 主査 井口 由美子 氏
(警察庁指定広域技能指導官)
- ◇ 発 表 ①「少年補導員等の活動」
～都内における少年警察ボランティアの日頃の活動～
東京少年補導員連絡協議会会長 関口 充 氏
②「広島南少年補導員連絡協議会の取組について」
広島南警察署管内少年補導員連絡協議会 榎迫 瑞穂 氏
梶下 律子 氏
③「滋賀県非行少年立ち直り支援センターあくする高島の取組について」
～支援を通して大切にしていること～
滋賀県立ち直り支援センターあくする高島 川島 育子 氏
近藤 明日香 氏
- ◇ 講 評 警察庁指定広域技能指導官
警視庁少年育成課新宿センター 主査 井口 由美子 氏

3 地域少年警察ボランティア連絡協議会カンファレンスの開催

少年警察ボランティア活動を活性化し効果的に行うのに資するため、地域少年警察ボランティア連絡協議会（以下「地域少協」と略称する。）が、管内の都道府県の少年警察ボランティアの参加を得て、広域研修を行うのを助成するものである。

本年度は、北海道・東北・関東・中部・近畿・九州の6地域少協が開催し、講演、事例発表、情報交換、課題協議等を行った。

なお、開催状況は、別紙4（P31～P34）のとおりである。

4 少年警察ボランティア研修教材等の作成

少年警察ボランティアに、少年補導員について学び、現場で活用してもらうための資料として小冊子「少年補導の手引き」を配付してきたが、本年度も都道府県警察、都道府県少年警察ボランティア協会等に配付した。

第3 顕彰事業

【ホームページ及びみちびき第171号に掲載】

警察庁及び全少協の各表彰規程に基づき、功労のあった個人及び団体の表彰を行っているところである。

本年度は、令和5年6月8日（木）、東京・グランドアーク半蔵門において表彰式を開催した。

栄誉金章及び団体表彰の受賞者は、以下の各氏及び各団体である。

◇ 少年補導功労者栄誉金章受賞者

（警察庁長官・全少協会長連名表彰） 47名

岡田 恭司（北海道・元地区会長）	山下 健兒（北海道・元地区会長）
今野 誠（岩手県・県副会長）	竹田 英子（宮城県・県会長）
平吹 信行（山形県・県監事）	黒岩 治夫（福島県・県理事）
田中 榮治（東京都・地区理事）	関谷 芳久（東京都・元都理事）
加藤 静雄（茨城県・県理事）	島野 利治（栃木県・県副会長）
田口 恵一（群馬県・県副会長）	星野由紀子（埼玉県・地区会員）
高木 厚行（千葉県・地区会員）	大野 敬二（新潟県・元地区会長）
小尾 靖（山梨県・県会長）	池戸 慶隆（長野県・元地区会長）
稲本多津郎（静岡県・元地区会長）	畑 義隆（富山県・地区会員）
安部 徹（石川県・県副会長）	河野 康夫（愛知県・地区会長）
吉田 敬岳（愛知県・県常任理事）	久保嘉一郎（三重県・地区副会長）
林 善彦（滋賀県・地区副会長）	井上 昭二（京都府・地区副会長）
植田 敬右（大阪府・地区副会長）	梶田 豊（大阪府・元地区会長）
後藤 秀士（兵庫県・地区理事）	吉川 清（兵庫県・地区副会長）
好川 嘉則（奈良県・県理事）	松下 健生（和歌山県・地区副支部長）
中村 明子（和歌山県・地区副会長）	岡本 克己（島根県・元地区副会長）
辻 満寿男（岡山県・地区会員）	野口 好子（広島県・地区部会長）
吉賀 昭美（山口県・元地区副会長）	久保 文男（愛媛県・元地区会員）
浜田 豊高（高知県・地区副会長）	阿部憲之介（福岡県・地区会長）
柳瀬 幹雄（福岡県・元地区会長）	松本 正弘（佐賀県・元県副会長）
船越 忠昭（長崎県・地区理事）	本田 和登（熊本県・地区副会長）
小幡 吉広（熊本県・地区監事）	川野 俊一（大分県・地区理事）
永尾 福康（大分県・地区会長）	諏訪 忠行（宮崎県・元地区会長）
小濱 義三（鹿児島県・地区会員）	

（敬称略）

◇ 少年補導功労団体表彰受賞団体

(警察庁長官・全少協会長連名表彰) 10団体

- | | | |
|---------------------|------|-------------------|
| 白石警察署少年補導員連絡協議会 | 白石支部 | (北海道・代表 大赤見 博 氏) |
| 秋田臨港地区少年保護育成委員会 | | (秋田県・代表 草薨 光 氏) |
| 八王子少年センター少年補導員連絡協議会 | | (東京都・代表 山口 覚 氏) |
| 鶴見少年補導員連絡会 | | (神奈川県・代表 門倉 卓雄 氏) |
| 天竜警察署少年警察協助員連絡会 | | (静岡県・代表 下村 菊雄 氏) |
| 中濃地区少年警察ボランティア協議会 | | (岐阜県・代表 中島 正憲 氏) |
| 篠山少年補導員連絡協議会 | | (兵庫県・代表 数元 健治 氏) |
| 広島南警察管内少年補導協助員連絡協議会 | | (広島県・代表 石本香穂子 氏) |
| 高松西地区少年警察補導員連絡協議会 | | (香川県・代表 石井 和義 氏) |
| 日南地区少年補導員連絡会 | | (宮崎県・代表 谷山 基晴 氏) |

◇ 少年補導功労者栄誉銀章受賞者

(警察庁長官・全少協会長連名表彰) 93名

◇ 少年補導功労者栄誉銅章受賞者

(全少協会長表彰) 198名

第4 その他の事業

1 関係機関・団体が行う以下の各運動に対して、協力を行った。

- (1) 令和5年「春の安心ネット・新学期一斉行動」
(2月～5月：総務省主唱)
- (2) 令和5年度『『ダメ。ゼッタイ。』』普及運動
(6月：厚生労働省、都道府県公益財団法人麻薬・覚せい剤乱用防止センター主催)
- (3) 令和5年度「青少年の非行・被害防止全国強調月間」 (7月：こども家庭庁主唱)
- (4) 第73回 “社会を明るくする運動強調月間” (7月：法務省主唱)
- (5) 令和5年「全国地域安全運動」
(10月：(公財)全国防犯協会連合会、警察庁主催)
- (6) 令和5年「全国暴力追放運動中央大会」
(11月：全国暴力追放運動推進センター、警察庁等主催)
- (7) 令和5年度「子ども・若者育成支援強調月間」 (11月：こども家庭庁主唱)

B 協会事務等

第1 会議の開催

【ホームページ及びみちびきに掲載】

1 総会

(1) 令和5年6月8日(木)に、東京・グランドアーク半蔵門において、阿波拓洋警察庁生活安全局人身安全・少年課長、周防尚樹同課課長補佐を来賓に迎え、正会員47人全員(正会員代表出席35名、委任状提出者3名、書面評決提出者9名)にて開催された。

- ・ 第1号議案「令和4度事業報告及びそれらの附属明細書について」
- ・ 第2号議案「令和4年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びそれらの附属明細書並びに財産目録等について」
- ・ 第3号議案「令和4度運営組織及び事業活動の状況の概要並びにこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類等について」を原案どおり承認。

続いて、

- ・ 第4号議案「役員の選任について」の議事に移り、候補者名簿(案)に記載された16名の候補者が、全員一致で承認された。

最後に、

- ・ 「令和4度事業実施結果及び令和5度事業実施予定について」の案件について事務局から説明を受け了承した。

(2) 令和6年3月14日(木)に、東京都千代田区神田須田町1丁目5番12号村山ビル6階 HARUKAZE STUDIO において、令和4年度臨時総会をWEB会議システムを活用して開催し、正会員である47都道府県少年警察ボランティア協会等会長47名(うち正会員代表出席者3名、インターネット出席者10名、書面表決書提出者34名)が出席して、

- ・ 第1号議案「令和6度事業計画について」
- ・ 第2号議案「令和6度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて」
- ・ 第3号議案「令和6度公益社団法人全国少年警察ボランティア協会決議について」
- ・ 報告事項「事業の廃止について」

を順次審議して決議採択した。

2 理事会

(1) 令和5年度第1回理事会

令和5年5月17日(水)に、東京・グランドアーク半蔵門において理事13名全員と監事1名が出席して開催された。

- ・第1号議案「令和4年度事業報告及びそれらの附属明細書について」
 - ・第2号議案「令和4年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びそれらの附属明細書並びに財産目録等について」
 - ・第3号議案「令和4年度運営組織及び事業活動の状況の概要並びにこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類等について」
 - ・第4号議案「令和5年度事業計画の実施について」
 - ・第5号議案「基本財産の運用について」
- の各議案について審議し、いずれも原案通り決議した。

続いて、報告事項として

- ・1 役員を選任（総会の決議事項）について
- ・2 令和5年度事業実施予定について
- ・3 寄附金の受け入れについて

の各案件について、全員一致で報告を承認した。

- (3) 令和5年6月8日（木）に、東京・グランドアーク半蔵門において、令和5年第2回理事会を開催し、理事14名中13名及び監事2名が出席して、議長から役員選定について諮ったところ、会長に岩井宣子氏、理事長に田中法昌氏、副理事長に山口裕基氏と関口充氏が満場一致で選任された。

- (4) 令和6年2月15日（木）に、令和5年度第3回理事会を、東京グランドアーク半蔵門において開催し、理事14名中12名及び監事2名が出席して開催された。

- ・第1号議案 令和6年度事業計画について
 - ・第2号議案 令和6年度収支予算並びに資金調達及び設備投資の見込みについて
 - ・第3号議案 令和6年度公益社団法人全国少年警察ボランティア協会決議について
- の各議案について審議し、いずれも原案通り決議した。

続いて、報告事項として

- ・役員を選任（総会の決議事項）について
- ・令和6年度の事業計画に基づく事業実施予定について
- ・寄付の受け入れについて
- ・健全育成ハンドブック企画編集委員会の設置について

の各案件について、全員一致で報告等を承認した。

第2 機関紙「みちびき」の発行

全少協機関紙「みちびき」を、年4回（令和5年4月に第170号、7月に第171号、10月に第172号、令和6年1月に第173号）を発行した。

各号発行部数は概ね2万2千部である。

別紙1

地域ふれあい事業の実施

(1) 長野県

- ◇ 日時・場所 令和5年5月30日～令和6年1月下旬
長野県下全域18地区
- ◇ 事業名 「令和5年度地域ふれあい事業」
- ◇ 参加者 総計 1,153名 (少年～849名、少年警察補導員～163名、警察職員・関係者等～141名)
- ◇ 実施内容
 - ① 警察署フェスティバルにおける物づくり体験を通じたふれあい活動 (長野中央地区)
 - ② 児童養護施設における玩具づくり体験を通じたふれあい活動 (飯山地区)
 - ③ 小学生とそばづくり・そば打ち体験活動. (中高地区)
 - ④ 小学生との紙飛行機制作を通じたふれあい活動 (須高地区)
 - ⑤ わが家のセーフティリーダーとの特殊詐欺被害防止啓発グッズ作成活動 (長野南地区)
 - ⑥ 高校生と協働した環境浄化活動及び自転車盗難防止活動 (上小地区)
 - ⑦ スマイル小諸商店街における職業体験学習・木工クラフト制作活動
(小諸地区)
 - ⑧ もみじ祭りにおけるおもちゃ作りを通じた少年健全育成活動 (佐久地区)
 - ⑨ 小学生とのパン作り体験を通じたふれあい活動 (軽井沢地区)
 - ⑩ ビューティフルビーナス活動
(小学生と協働した公共施設への植栽) (茅野地区)
 - ⑪ 小学生や地域の健全育成団体との交流活動 (わんわんパトロール) (諏訪地区)
 - ⑫ 小学生とのしめ縄・おやす作り活動 (伊那地区)
 - ⑬ 小学生との市田柿収穫・干し柿作り体験学習 (阿南地区)
 - ⑭ わが家のセーフティリーダーとの水引細工制作体験活動 (木曾地区)
 - ⑮ 中学生とのしめ縄作りによる文化継承活動 (塩尻地区)
 - ⑯ わが家のセーフティリーダーとの年賀状作成活動 (松本地区)
 - ⑰ 高校生と協働した植栽活動 (安曇野地区)
 - ⑱ わが家のセーフティリーダーと協働した植栽活動 (大町地区)

(2) 三重県

- ◇ 日時・場所 令和5年10月14日 伊賀市木興町内の畑

◇ 事業名 「さつまいもの苗植えから収穫までの体験活動」

◇ 実施内容

- ① さつまいもの苗植え等
- ② さつまいもの収穫体験
- ③ 焼き芋体験

(3) 鳥取県

◇ 日時・場所 令和5年8月4日

大山二ノ沢から三ノ沢周辺の山麓

◇ 事業名 「地域ふれあい事業」

◇ 参加者 総計35名（少年及び保護者～18名、ボランティア～13名、警察職員～4名）

◇ 実施内容

大山ブナを育成する会会員の指導の下、参加者がブナの苗木を植樹し、木々の役割及び山を育むことの重要性について説明を受け、理解を深めた。

(4) 佐賀県

◇ 日時・場所 令和4年5月から令和6年1月までの間

◇ 事業名 「ひまわりの種で繋ぐ地域ふれあい事業」

◇ 参加者（延べ人数）

総計351名（少年～26名、少年補導員～126名、地域ボランティア等～124名、警察職員～75名）

◇ 実施内容

新型コロナウイルス感染症の影響により、少年補導員の活動が低迷し、少年らと触れ合う機会も少なくなったことから、遠隔での少年とのふれあい活動として、令和4年から5年度の2年間にわたり、「ひまわりの種で繋ぐ地域ふれあい事業」を実施した。

令和4年度は、県警が主催する居場所づくり活動の中で、少年等がひまわりの苗の定植や農地整備、ひまわりの種の収穫、ひまわりの種の袋詰めを実施した。

令和5年度は少年らが育て、収穫し、袋詰めしたひまわりの種を県内少年補導員に配布し、県内全域にひまわりを咲かせた。

別紙2

農業体験を通じた立ち直り支援活動の推進

(1) 北海道

- ◇ 日時・場所 令和5年5月6日～同年10月14日
札幌市南区真駒内287番51「ふるさとJUMP農園」
他、3方面本部（函館、旭川、北見）で実施
- ◇ 事業名 「農業体験 ～JUMP農園活動～」
- ◇ 参加者 総計460名～延べ人員（対象少年95名、少年警察ボランティア・大学生ボランティア138名、警察職員等ほか関係者227名）
- ◇ 実施内容
野菜作り体験（野菜全般）
農業指導のもと、じゃがいも・きゅうり・ピーマン・にんじん・タマネギ・大根などの植え付けを行い、農園の看板制作、植えた野菜の枝の剪定、畑の除草作業をし、実った野菜を収穫した。

(2) 岩手県

- ◇ 日時・場所 令和5年5月17日～同年10月25日
奥州市水沢真城所在の「おうしゅう農園」
- ◇ 参加者 総計56名（対象少年4名、少年警察ボランティア・大学生ボランティア、警察職員等関係者52名）
- ◇ 実施内容
野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、土作り、夏野菜・根菜類の苗植え、除草作業収穫体験を実施。
下半期は、根菜類の収穫体験を実施した。

(3) 宮城県

- ◇ 日時・場所 令和5年10月17日及び同年11月22日
仙台市内 仙台東地区少年補導員所有の農地
- ◇ 参加者 総計10名（対象少年3名、少年警察ボランティア3名、警察職員等関係者4名）
- ◇ 実施内容
野菜作り体験(野菜全般)
落花生・さつまいも・ピーマン・ししとう・大根・里芋の収穫体験を実施した。

(4) 秋田県

- ◇ 日時・場所 令和5年5月31日～令和6年1月25日
秋田市金足下刈字北野地内（なぎさファーム）
- ◇ 事業名 「農業体験立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計106名～延べ人員（少年20名、ボランティア54名、警察職員等関係者32名）
- ◇ 事業内容
野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、畑の耕作及び夏・秋野菜の種蒔き、植え付け、収穫体験、除草等の作業を実施した。下半期は、秋野菜の収穫を実施した。

(5) 山形県

- ◇ 日時・場所 令和5年5月9日～同年11月18日
山形県酒田市十里塚地内の少年補導員所有の畑
山形県酒田市亀ヶ崎地内 亀ヶ崎コミュニティ防災センター十里塚地
- ◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計62名（対象少年延べ8名、農業指導者2名、少年補導員30名、少年警察学生ボランティア14名、警察職員8名、）
- ◇ 実施内容
野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、畑の耕作及びじゃがいも・スイカの植え付け、除草等の作業を実施した。
下半期は、スイカ、さつまいもの収穫等を実施した。

(6) 福島県

- ◇ 日時・場所 令和5年6月3日～同年12月16日
 - ・ いわき市平原高野地内 水田及びサツマイモ畑
 - ・ いわき市平原高野伊勢前 いわき市原高野公民館
- ◇ 事業名 「農業体験活動」
- ◇ 参加者 総計164名～延べ人員（対象少年65名、少年警察ボランティア等83名、関係者16名）
- ◇ 実施内容
稲作、サツマイモ作り体験
上半期は、サツマイモの植え付け、田植えを実施した。
下半期は、稲刈り、サツマイモの収穫。最後に、収穫した野菜でカレー

ライスを調理、会食を実施した。

(7) 東京都

- ◇ 日時・場所 令和5年4月17日～同年12月2日
立川市上砂町山下農園、練馬区石神井町富岡農園及び6少年センター
- ◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計95名～延べ人員（対象少年27名、少年警察ボランティア等68名）
- ◇ 実施内容
野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、トウモロコシ・枝豆の種まき、さつま芋の定植、夏野菜の
植え・苗の植え付け、収穫体験、大根・白菜の種まき、定植を実施
した。下半期は、大根・白菜の収穫、出荷作業等を行った。

(8) 茨城県

- ◇ 日時・場所 令和4年4月1日～令和5年1月31日
水戸市全隈町 水戸市ふるさと農場
- ◇ 事業名 「農業体験活動」
- ◇ 参加者 総計87名 延べ人員(対象少年15名、少年警察ボランティア等32名、
警察職員等40名)
- ◇ 実施内容
野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、さつま芋・トウモロコシ等の種まき・植え付け、除草作業、茎ブ
ロッコリーの収穫体験を実施した。下半期は、秋じゃがいも・大根の収穫を行
った。

(9) 栃木県

- ◇ 日時・場所 令和4年4月6日～同年12月3日
宇都宮市中岡本町 「河内ふれあい市民農園」
塩谷郡高根沢町石末 「昌いちご農園」
栃木市新井町 「栃木農園」、
小山市下国府塚 「小山市民農園」)
- ◇ 事業名 「農業体験活動」
- ◇ 参加者 総計148名～延べ人員（対象少年26名、少年警察ボランティア等28
名、警察職員66名、その他参加者（保護者・兄弟姉妹・教員）28名）

◇ 実施内容

野菜作り体験(野菜全般)

上半期は、ジャガイモ・里芋・サツマイモ、いちごの植え付け後、除草等の作業、6月にジャガイモの収穫、大根の種まき白菜の苗植えを実施した。下半期は、いちごの収穫、大根の間引き、除草、11月にサツマイモ、大根、白菜の収穫を行った。

(10) 群馬県

◇ 日時・場所 令和5年5月～同年11月12日

高崎市井出町240番地1 (畑)

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総員120名～延べ(対象少年50名、少年警察ボランティア等40名、警察職員等関係者30名)

◇ 実施内容

・野菜の収穫(さつま芋、大根)

5月～さつま芋の植付け 8月～大根の種まき

期間中、草刈り、畑の手入れを行い、11月の収穫祭を実施した。

(11) 埼玉県

◇ 日時・場所 令和5年7月16日～同年12月23日

さいたま市緑区 農園「ファーム・インさぎ山」

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計27名～延べ人員(対象少年6名、少年警察ボランティア等13名、講師等関係者8名)

◇ 実施内容

・稲作体験及び野菜作り体験

上半期は、夏野菜の収穫体験と冬野菜の種・苗植え等を実施した。

下半期は、稲刈り、冬野菜の苗付け、収穫等を実施した。

(12) 千葉県

第1 千葉縣市原警察署管内

◇ 日時・場所 令和5年3月29日～同年9月9日

市原市菊間 警察協力者のビニールハウス、水田

◇ 事業名 「農業体験(米作り体験)による立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計105名(対象少年20名、保護者6名、少年警察ボランティア等3

3名、警察職員・その他関係者(保護者等)46名)

◇ 実施内容

・稲作体験

田植え、稲の生育確認、水田周辺の除草作業、稲刈り、収穫祭を実施した。

(13) 新潟県

◇ 日時・場所 令和4年4月4日～令和6年1月5日

新潟市中央区上所 新潟ユニゾンプラザハート館庭

上越市藤野新田 上越警察署敷地内

上越市春日新田 警察官OB所有の畑

◇ 事業名 「みんな笑顔で楽しく菜園活動2023」

◇ 参加者

① 新潟少年サポートセンター

総計16名(対象少年4名、少年警察ボランティア等4名、警察職員・その他関係者8名)

② 上越少年サポートセンター

総計16名(対象少年2名、少年警察ボランティア等6名、警察職員・その他関係者8名)

◇ 実施内容

プランター等を利用した菜園活動

上半期は、夏野菜の苗植え付け及び収穫を実施した。下半期は、秋・冬野菜の収穫と球根植えを実施した。

(14) 山梨県

◇ 日時・場所 令和5年6月3日～同年9月23日

韮崎市旭町上条中割の農地及び都留市鹿留の農地

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計50名(対象少年6名、少年警察ボランティア13名、警察職員等関係者31名)

◇ 事業内容

稲作体験及び野菜作り体験(サツマイモ)

上半期は、6月に田植え、9月に稲刈りを実施した。下半期は、さつまいもの収穫体験を実施した。

(15) 長野県

- ◇ 日時・場所 令和5年10月12日～同年12月7日
安曇市掘金鳥川 長野県南安曇農業高等学校第2農園
- ◇ 事業名 「文字入りりんごの作成・収穫」
- ◇ 参加者 総計46名（少年13名、ボランティア27名、警察職員等関係者6名）
- ◇ 実施内容
 - ・りんごの栽培、収穫体験
 - 上半期は、りんごの摘果作業等を実施した。下半期は、メッセージ付きりんごの収穫、配布を実施した。

(16) 石川県

- ◇ 日時・場所 令和5年4月13日～同年12月4日
金沢市無量寺地区（あすなろ農園）
- ◇ 事業名 「“石川っ子あすなろ塾”「あすなろ農園」で、野菜を育てて、食べよう!」
- ◇ 参加者 総計140名～延べ人員（対象少年26名、ボランティア34名、関係者・保護者・大学教授・警察職員等80名）
- ◇ 事業内容
 - 野菜作り体験(野菜全般)
 - 上半期は、夏・秋野菜の種蒔き、植え付け、除草、追肥等の作業を実施し夏野菜を収穫した。下半期はサツマイモ、大根等の冬野菜の追肥、除草、収穫を実施した。

(17) 愛知県

- ◇ 日時・場所 令和5年4月22日～同年11月3日
知多郡美浜町大字奥田字打越内 農園
知多市この巣一丁目地内 農園
- ◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計136名～延べ人員（対象少年等39名、少年警察ボランティア等37名、警察職員等59名、農業指導者1名）
- ◇ 実施内容
 - 野菜作り体験(野菜全般)
 - 上半期は、畑づくりと苗・植え作業とトマト・ナス等の夏野菜の収穫体験、除草作業を収穫した。下半期は、除草作業と、里芋、大根、さつまいも等冬野菜の収穫を実施した。

(18) 滋賀県

- ◇ 日時・場所 令和5年6月7日～同年12月27日までの間
 - ・ 大津市打出浜（大津少年サポートセンター玄関前）
 - ・ 米原市米原（米原少年サポートセンター玄関前）
- ◇ 事業名 「プランター野菜栽培による農業体験活動」
- ◇ 参加者 総計83名～延べ人員（少年（兄弟含む）25名、保護者15名、警察職員等43名）
- ◇ 実施内容
 - 野菜作り体験(野菜全般)
 - プチトマト・ラディッシュ・ほうれん草等を栽培
 - 苗植え、種まき、脇芽取り、間引き、水やり、野菜の収穫を実施した。

(19) 京都府

- ◇ 日時・場所 令和5年5月8日～翌年1月16日
福知山市字市寺（塩見農園）
- ◇ 事業名 「京都府北部における地域ボランティアを中心とした農業体験支援活動」
- ◇ 参加者 総計21名～延べ人員（少年4名、ボランティア8名、警察職員・その他関係者等9名）
- ◇ 実施内容
 - ・ 野菜作り体験(野菜全般)
 - 上半期は、6月にサツマイモ栽培、苗植え、タマネギの収穫等を実施した。下半期は、10月にサツマイモ・ジャガイモの収穫を実施した。

(20) 大阪府

- ◇ 日時・場所 令和5年1月3日～同年12月22日（計20回）
 - ・ 泉佐野市長滝所在の協力者所有の畑
 - ・ 貝塚市畠中所在の農場
- ◇ 事業名 「農業体験（野菜作り及び米作り活動）を通じた立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計142名～延べ人員（対象少年14名、ボランティア20名、警察職員42名、関係者（府職員・学校教員・学生ボランティア等）66名）
- ◇ 実施内容
 - ・ 稲作体験及び野菜作り体験(野菜全般)
 - 上半期は、田植え、夏野菜の種・苗植え、除草作業、収穫体験を実施した。下半期は、稲刈り、秋野菜の収穫等を実施した。

(21) 兵庫県

- ◇ 日時・場所 令和5年4月1日～翌年1月31日
神戸東部・神戸西部・姫路・尼崎・東播の少年センター敷地内農園（5箇所）、神戸市北区の貸し農園、西宮少年センター内プランター等による栽培
- ◇ 事業名 「少年サポートセンター学習農園における立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 対象少年39名、その他の参加者～ボランティア・少年課員・学校教諭・教育相談所職員・農業指導者
- ◇ 実施内容
 - ・野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、農園の土壌改善作業を実施した後、夏野菜の植え付け、除草、追肥を実施し、トマト、キュウリ等の夏野菜を収穫した。下半期は、冬野菜の種・苗植え、除草作業、収穫を実施した。

(22) 岡山県

- ◇ 日時・場所 令和5年5月21日～同年12月27日
津山市檜(田植え)、岡山市中区沖元(田植え)、小田郡矢掛町（野菜の生産体験）
- ◇ 事業名 「農業体験等を通じた立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計92名(対象少年等26名、少年警察ボランティア16名、警察職員・保護者・関係者等50名)
- ◇ 実施内容
 - ・稲作体験及び、野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、田植え、夏野菜の種・苗植え、除草作業、収穫体験を実施した。下半期は、稲刈り、秋野菜の収穫等を実施した。

(23) 広島県

- ◇ 日時・場所 令和5年5月28日～同年11月12日
広島市南区宇品東所在の畑
広島市安佐北区所在の少年警察ボランティアの畑
- ◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」
- ◇ 参加者 総計120名～(対象少年35名、少年警察ボランティア53名、警察職員・保護者等32名)
- ◇ 実施内容

・野菜作り体験(野菜全般)

上半期は、畑の耕作、タマネギの収穫、さつまいも・じゃがいもの苗植えを実施した。下半期は、さつまいも・じゃがいもの収穫、タマネギの苗植えを実施した。

(24) 山口県

第1 岩国警察署少年相談員連絡会

◇ 日時・場所 令和5年11月12日

岩国市美和町北中山 人権擁護委員方畑

◇ 参加者 総計19名(少年8名、ボランティア6名、関係者5名)

◇ 実施内容

・野菜作り体験(さつまいも)

春季にサツマイモの苗植えを体験し、秋季にはサツマイモの収穫を体験した。

(25) 徳島県

◇ 日時・場所 令和5年5月31日～翌年1月19日

- ・ 鳴門市大麻町 徳島県立徳島学院(児童自立支援施設)あすなろ農園
- ・ 徳島市大原町元木方農園「はぐくみ農園」

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計250名～延べ人員(対象少年56名、少年警察ボランティア40名、警察職員・保護者・関係者等154名)

◇ 実施内容

・野菜作り体験(野菜全般)

上半期は、梅の摘果、ジャガイモ・すだちの収穫と除草・整地作業を実施した。下半期は、大根の種植え、ブロッコリーの植え付け、花の寄せ植え作業を実施した。

(26) 香川県

◇ 日時・場所 令和5年6月10日～同年12月9日

香川県綾歌郡綾川町山田下2278番地3及びその周辺

少年警察ボランティア所有の畑地

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計55名～延べ人員(対象少年及び保護者19名、少年警察ボランテ

ィア16名、警察職員・関係者等20名)

◇ 実施内容

・野菜作り体験(野菜全般)

上半期は、6月に夏野菜の種・苗植え、7月に追肥、看板作り、除草、収穫、8月に秋野菜の種まき、選定、除草、収穫等、9月に秋野菜の苗植え、収穫等を実施した。下半期は、秋野菜の収穫、除草作業等を実施した。

(27) 愛媛県

◇ 日時・場所 令和5年4月16日～同年12月28日

八幡浜市 夢色団地西側農地「ゆめいろガーデン」

◇ 事業名 「児童養護施設入所児童の居場所づくり」

◇ 参加者 総計148名～延べ人員(対象少年等56名、少年警察ボランティア30名、警察職員等62名)

◇ 実施内容

・野菜作り体験(野菜全般)

上半期は、キュウリ・ナス・ミニトマト等夏野菜の種・苗植えと収穫、下半期は、玉ねぎ・じゃがいも人参等冬野菜の苗・種の植付け収穫を実施した。

(28) 福岡県

◇ 日時・場所 令和5年6月～同年11月

福岡市早良区原 「ハッピー農園」

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計38名～延べ人員(対象少年7名、ボランティア等18名、警察職員13名、)

◇ 実施内容

・野菜作り体験(サツマイモ)

秋にサツマイモの苗植えを体験し、秋にはサツマイモの収穫を体験した。

(29) 佐賀県

◇ 日時・場所 令和5年6月17日～翌年1月27日

多久市南多久町地区の田圃

◇ 事業名 「稲作を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計84名～延べ人員(対象少年12名、保護者12名、少年警察ボランティア等33名、警察職員27名、)

◇ 実施内容

・稲作体験

上半期は、6月に田植えを実施した。下半期は、稲刈りと稲のわらを使った、しめ縄作りを実施した。

(30) 長崎県

◇ 日時・場所 令和5年6月10日～同年11月4日

長崎県西彼杵郡長与町高田郡百合野団地内 「山崎農園」

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計47名（対象少年等7名、少年警察ボランティア27名、警察職員13名）

◇ 実施内容

・野菜作り体験(サツマイモ)

上半期は、6月にサツマイモつる差しを実施した。下半期は除草作業、サツマイモの収穫を実施した。

(31) 熊本県

◇ 日時・場所 令和5年6月3日～同年12月2日

熊本市北区梶尾町所在の畑

◇ 事業名 農業体験「芋の植え付け及び収穫」活動

◇ 参加者 総計172名～延べ人員（対象少年等48名、少年警察ボランティア85名、警察職員等39名）

◇ 実施内容

・野菜作り体験(ジャガイモ・サツマイモ)

上半期は、さつま芋・ジャガイモの苗植え、除草作業等を実施した。下半期は、さつま芋・ジャガイモの収穫を実施した。

(32) 鹿児島県

◇ 日時・場所 令和5年6月13日～同年10月21日

南九州市穎娃町上別府の農地

◇ 事業名 「農業体験を通じた立ち直り支援活動」

◇ 参加者 総計32名 延べ人数（対象少年等1名、少年警察ボランティア13名、警察職員・関係者18名）

◇ 実施内容

・野菜作り体験(サツマイモ)

上半期は、6月にサツマイモの苗植えと除草作業を実施した。下半期

は、10月にサツマイモの収穫を実施した。

(33) 沖縄県

- ◇ 日時・場所 令和5年4月23日～同年12月25日
糸満市西川町「わくわくふれあい農園（いと・けい）」
- ◇ 事業名 「農業体験 わくわくふれあい農園（いと・けい）での支援活動」
- ◇ 参加者 総計65名（対象少年19名、少年警察ボランティア20名、警察職員・関係者等26名）
- ◇ 実施内容
 - ・野菜作り体験(野菜全般)
上半期は、4月に人参・タマネギ・じゃがいも等の収穫、5月にクワンソウの花の収穫を実施した。下半期は、11月にジャガイモ・タマネギ・人参等の苗植え、12月にミニトマト、ベビーリーフの収穫を実施した。

別紙 3

少年警察ボランティア等の地域カンファレンスの開催

(1) 宮城県

① 沿岸ブロック少年警察ボランティア実践塾

- ◇ 日時 令和5年11月14日
- ◇ 場所 登米市中田町 登米市宝江ふれあいセンター
- ◇ 参加者
 - ア ボランティア
沿岸ブロック6地区(石巻・気仙沼・佐沼・登米・河北・南三陸)少年補導員
28名
 - イ 沿岸ブロック少年補導・育成センター所長及び所員 8名
 - ウ 宮城県警察少年補導・育成センター所長及び所員 2名
- 計 38名
- ◇ 研修内容

講演

演題：「少年のネット・ゲーム依存について」

講師：合同会社オフィスウィル代表 遠藤志郎氏(登米地区少年補導員)

② 仙北ブロック少年警察ボランティア地域カンファレンス

- ◇ 日時 令和5年11月17日(金)
- ◇ 場所 宮城県登米市中田町宝江黒沼字浦38番地3 登米市宝江ふれあいセンター
- ◇ 参加者
 - ア ボランティア
仙北ブロック6地区(古川・遠田・若柳・築館・鳴子・加美)
少年補導員43名
 - イ 仙北ブロック少年補導・育成センター所長及び所員 8名
 - ウ 宮城県警察少年補導・育成センター所長及び所員 2名
- 計 53名
- ◇ 研修内容

講演

演題：「みやぎの不登校支援といじめ問題対策について」

講師：宮城県教育庁義務教育課心のサポート専門監 早川知宏氏

(2) 秋田県

- ◇ 日時 令和5年10月3日

- ◇ 場所 秋田市御所野地藏田 秋田市勤労者福祉振興会「秋田テルサ」
- ◇ 参加者 総計247名（少年保護育成委員212名、警察職員等30名）
- ◇ 研修テーマ 少年を守り支える地域の力
- ◇ 研修内容
 - ア 活動発表
 - 「非行防止及び健全育成活動の紹介」
 - 発表 秋田臨港地区少年保護育成委員会
 - イ 講演会
 - 演題 「救えたはずの命から託された願い」
 - ～未来のあなたが見たい。あきらめないで～
 - 講師 福岡県警察本部生活安全部少年課課長補佐 安永智美氏

(3) 福島県

- ◇ 日時 令和5年12月1日（金）午後1時から午後4時まで
- ◇ 場所 会津若松市北会津町中荒井諏訪前11 コミュニティ施設ピカリンホール
- ◇ 参加者 総計70名（少年警察ボランティア（会津若松・会津美里地区、猪苗代地区、喜多方地区、会津坂下地区、南会津地区の5地区）60名、警察職員10名）
- ◇ 研修内容
 - ① 講演会
 - 演題「笑い与健康～心と身体を癒す笑いの力～」
 - 講師 福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授 大平哲也氏
 - ② ディスカッション

(4) 京都府

- ◇ 日時 令和5年11月4日
- ◇ 場所 京都市下京区 京都リサーチパーク
- ◇ 参加人員 総計166名（少年補導員147名、警察職員19名）
- ◇ 研修内容
 - 演題 「少年非行情勢（少年法改正等）について」
 - 講師 京都府警察本部少年課少年サポートセンター 副所長 谷村彰裕氏

(5) 奈良県

- ◇ 日時 令和5年7月2日
- ◇ 場所 奈良県生駒郡斑鳩町興留10丁目6番43号 いかるがホール

- ◇ 参加者 総計 332 名 (少年補導員 277 名、奈良県少年の健全育成功労団体代表者 5 名、少年警察大学生ボランティア「少年フォローズ奈 POLIS」4 名、警察職員 47 名)

- ◇ 研修内容

- 講演

- 演題： 「心のバリアフリーを求めて」

- 講師： NPO 法人チェンジングライフ理事長 野田詠氏 氏

(6) 広島県

- ◇ 日時

- ① 東部ブロック 令和 5 年 11 月 25 日 (土)

- ② 西部ブロック 令和 5 年 12 月 2 日 (土)

- ◇ 場所

- ① 東部ブロック 広島県福山市瀬戸町山北 54 番地 2 広島県東部運転免許センター

- ② 西部ブロック 広島市佐伯区石内南 3 丁目 1 番 1 号広島県運転免許センター

- ◇ 参加者

- 広島県少年補導補助員～152 名、警察職員～11 名

- ◇ 研修内容

- ① 東部ブロッ ク

- 講演

- (ア) 演題 サイバー犯罪の現状と対策

- 講師 広島県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課員

- (イ) 協議会事例発表

- 福山東警察署管内少年補導補助員連絡協議会

- 「福山東警察署管内少年補導補助員連絡協議会の取組みと市街地における補助員活動について」

- ② 西部ブロッ ク

- (ア) 演題 サイバー犯罪の現状と対策

- 講師 広島県警察本部生活安全部サイバー犯罪対策課員

- (イ) 協議会事例発表

- ・ 佐伯警察署管内少年補導補助員連絡協議会

- 「小中学生のための情報モラル育成授業～ネット上でのルール等を理解し適切に行動する態度を考える～」

- ・ 広島中央警察署管内少年補導補助員連絡協議会

- 「広島中央警察署管内少年補導補助員連絡協議会における児童館での取組

み」

(7) 香川県

- ◇ 日時 令和5年11月16日
- ◇ 場所 香川県警察学校体育館
- ◇ 参加者 総計139名（少年警察補導員116名、警察職員等23名）
- ◇ 研修内容

① 基調講演

演題 「救えたはずの命から託された願い」

～未来のあなたが見たい。あきらめないで～

講師 福岡県警察本部生活安全部少年課

少年健全育成室課長補佐 安永智美氏

② 大学生ボランティア活動事例発表

③ パネルディスカッション

「少年警察補導員の意義・役割」

～世代をつなぐボランティア活動～

～ネット・スマホ世代の子ども達とどう向き合うか～

別紙 4

地域少年警察ボランティア連絡協議会カンファレンスの開催

(1) 北海道地域

- ◇ 開催日時 令和5年11月27日(月)
- ◇ 開催会場 札幌市中央区北4条西6丁目 ポールスター札幌
- ◇ 出席者
総計 71名
 - ・ 少年警察ボランティア等 計 63名
 - ・ 警察職員 計 7名
 - ・ 講師
- ◇ 研修内容
 - ① 講演
演題「北海道少年院における処遇について」
北海少年院教務部門 法務教官統括専門官 鶴旨紀彦氏
 - ② 事例発表
 - (ア) 豊平警察署少年補導員連絡協議会
 - ・ 組織構成、研修会に伴う知識技能の習得
 - ・ 少年の居場所づくり活動、街頭でのあいさつ／みまもり活動
 - (イ) 滝川警察署少年補導員連絡協議会
 - ・ 組織概要
 - ・ 管内の主要か所や祭典会場の巡回、登下校の見守り、居場所づくり活動

(2) 東北地域

- ◇ 開催日時 令和5年5月25日(木)
- ◇ 開催会場 仙台市青葉区本町 東北管区警察局大会議室
- ◇ 出席者
総計 29名
 - ・ 東北少年警察ボランティア連絡協議会会長、副会長及び理事6名
 - ・ 東北管区警察局広域調整第一課長、同課調査官、課長補佐及び係長5名
 - ・ 東北管区内各県警察本部で少年警察ボランティア団体を担当する課長補佐等12名
 - ・ 講師
- ◇ 研修内容
 - ① 各県事例発表
 - (ア) 少年警察ボランティア等の活動と課題について(青森県)

- (イ) 岩手県の活動事例（岩手県）
- (ウ) ボランティアによる健全育成活動と課題（宮城県）
- (エ) 少年警察ボランティアによる「非行少年を生まない社会づくり」活動（秋田県）
- (オ) 「非行少年を生まない社会づくり」～少年警察ボランティアと警察が連携した活動紹介～（山形県）
- (カ) 少年警察ボランティアによる少年非行防止・健全育成活動について（福島県）

② 特別講話

演題 「少年相談の窓口から」

講師 警視庁生活安全部少年育成課主査 井口 由美子氏

(3) 関東地域

- ◇ 開催日時 令和5年11月15日（水）
- ◇ 開催会場 長野市県町576番地 ホテル国際21
- ◇ 出席者

総計 83名

- ・ 少年警察ボランティア等 計58名
- ・ 警察職員 計23名
- ・ 講師 計2名

◇ 研修内容

① 講演（トーク方式）

演題「子供たちに夢を」 武論 尊氏（漫画「北斗の拳」等原作者）
伴野章夫氏（武論尊100時間漫画塾運営委員長）

(4) 中部地域

- ◇ 開催日時
令和5年9月29日（金）
- ◇ 開催場所
中部管区警察局8階会議室

◇ 出席者

総計 18名

- ・ 中部少年警察ボランティア連絡協議会会長、副会長及、理事及び職員 計8名
- ・ 中部管区警察局広域調整第一課調査官及び同課課長補佐 計3名
- ・ 各県警察本部で少年警察ボランティア連絡協議会等を担当する課長補佐等 計7名

◇ 開催内容

① 各県事例発表

- (ア) 「守ろうとやまの元気っ子 ～地域の子供たちとふれあい、非行防止へ～」
(富山県少年警察ボランティア連絡協議会板倉会長)
- (イ) 「石川県の活動報告」
(石川県少年補導員連絡協議会)
- (ウ) 「福井県少年警察協助手員会連合会の取組」
(福井県少年警察協助手員会連合会)
- (エ) 「岐阜県少年警察ボランティア協議会活動報告」
(岐阜県少年警察ボランティア協議会)
- (オ) 「愛知県の取組事例と支援対象少年のその後」
(愛知県少年補導委員会連合会)
- (カ) 「地域ふれあい事業活動・少年の居場所づくり活動」
(三重県少年警察協助手員連絡協議会)

(5) 近畿地域

- ◇ 開催日時 令和5年5月26日(金)
- ◇ 開催会場 大阪府中央区大手前 大阪歴史博物館
- ◇ 参加人員
総計93名
 - ・ 少年補導員・協会役員等 41名
 - ・ 管区内府県警察官、サポートセンター職員 44名
 - ・ 管区警察局 8名

◇ 研修内容

演題「コロナ禍で出会った少年たち～いま少年補導員に求められるもの～」
講師 大阪府福祉部子ども家庭局子ども青少年課
非行防止対策グループ総括主査 橋川 清太氏

(6) 九州地域

- ◇ 開催日時 令和5年6月26日(月)
- ◇ 開催会場 熊本県熊本市西区春日1丁目14番1号くまもと森都心プラザ6F会議室
- ◇ 参加人員
総計27名
 - ・ 九州管区警察局広域調整第一課次席、課長補佐、係長
 - ・ 各県警察本部少年警察ボランティア担当課長補佐または係長、少年補導職員
 - ・ 各県少年警察ボランティア連絡協議会会長または副会長

◇ 研修内容

① 各県活動報告

- (ア) 少年非行防止・健全育成に向けた取組（沖縄県）
- (イ) 少年の非行防止・健全育成に向けた取組について（鹿児島県）
- (ウ) コロナ禍における少年補導員活動について（宮崎県）
- (エ) 少年の非行防止・健全育成に向けた取組について（大分県）
- (オ) 非行防止・被害防止に向けた各種広報啓発活動の推進について（熊本県）
- (カ) ボランティア活動を活性化するための取組（長崎県）
- (キ) ひまわりの種で繋ぐ地域ふれあい事業（佐賀県）
- (ク) 福岡県における令和4年度少年警察学生サポーターの活動（福岡県）

② 警察関係事例発表

- (ア) 少年の問題行動の未然防止や立ち直り支援（鹿児島県警察）
- (イ) 大麻乱用防止に向けた取組について（福岡県警察）

③ 特別講演

講師 熊本少年鑑別所統括専門官 岡崎 昌樹氏

演題 「地域援助業務について」